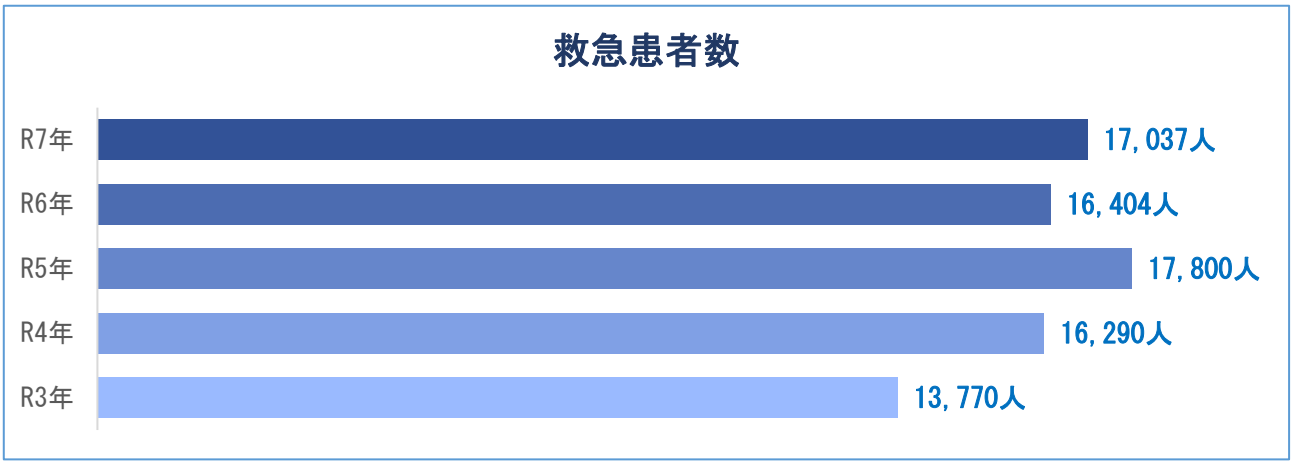
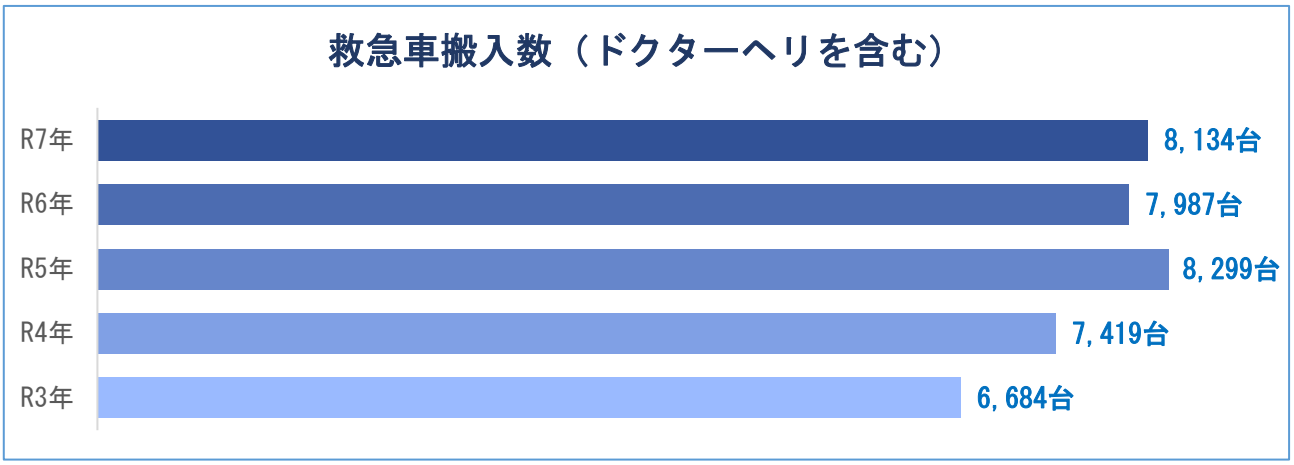
救急・災害医療に関する臨床指標

指標名		R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	説明
救急患者数(単位＝人)		13,770人	16,290人	17,800人	16,404人	17,037人	「断らない救急」をスローガンとして掲げ、24時間体制で救命救急センターを中心として救急医療と高度急性期医療の提供に努めています。
救急車搬入数(ドクターヘリを含む)(単位＝台)		6,684台	7,419台	8,299台	7,987台	8,134台	
救急入院数(単位＝人)		4,693人	4,852人	5,229人	5,470人	5,613人	
救急車搬入入院数(ドクターヘリを含む)(単位＝人)		3,553人	3,736人	4,002人	4,191人	4,294人	
救急車応需率 (単位＝%)		99.28%	98.21%	99.48%	99.65%	99.75%	【救急車(転院搬送含む)・ヘリ受入数／救急車(転院搬送含む)・ヘリ受入要請総数】により算出 参考：日本病院会QIプロジェクトにおける2025年度参加病院の平均は87.3%です。(救急車で来院した患者数／救急車受け入れ要請人数)
DMATチーム数		6チーム	7チーム	7チーム	8チーム	8チーム	DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字を取ってDMATと呼ばれています。 医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームのことです。
DMATチーム構成(単位＝人)	医師	17人	15人	17人	16人	15人	
	看護師	15人	14人	16人	16人	16人	
	業務調整員	13人	13人	14人	14人	16人	
DMAT訓練研修参加数(単位＝回)		3回	12回	14回	7回	14回	

３）救急・災害医療に関する臨床指標





当院は救命救急センターとして３次救急患者の収容施設であり、急性心筋梗塞やくも膜下出血、脳梗塞等の時間を争う重症内因性疾患、さらに多発外傷や重症熱傷患者などの診療にあたっています。救命救急センターには外来部門として救急外来、入院部門として重症度に応じたＥＩＣＵ、ＨＣＵ、ＥＣＵの病床を有しています。複数の診療科にまたがる疾患や外傷の患者が多く、各科と連携を図りながら２４時間対応の救急医療を行っています。

また、平日夜間休日を問わず、基本的に救急専従医９名（令和７年４月１日時点）が交替で救急外来に常勤し、救急隊からの収容依頼に応じているほか、更には救急協力医や救急外来担当医（一般診療科医師・研修医）が必要に応じて専門科の拘束医と連絡を取り合って診療を行っています。

救急患者についても長野医療圏はもとより、北信地域唯一の救命救急センターとして当該医療圏以外の救急患者に対しても「断らない救急」をスローガンに２４時間体制で救命救急センターを中心とした救急医療及び高度急性期医療の提供に努めています。